

## 第2次岩国市スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメントについて

令和5年2月1日から令和5年3月2日まで、市民の皆様からご意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出されました。

- ・ 提出者数2人
- ・ 意見の総数17件

提出された意見の要旨と、その意見に対する市の考え方をまとめましたので、お知らせします。

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
1	<b>見出しの題名</b> 運動にもついて記載等あるので【スポーツ・運動推進計画】では問題があるのでしょうか？	見出しの題名につきましては、平成25年度に策定した「岩国市スポーツ推進計画」を改定した計画であるため、「第2次岩国市スポーツ推進計画」としています。
2	<b>P8 基本目標</b> 長年スポーツ実施率の向上がされていないが19%も向上できる目標の根拠が知りたいです。これは、企業などに協力してもらい会社等での運動の推進などをしてもらい健康経営活動の普及啓発が必要と思います。市民だけでは週1回以上スポーツ等を行う成人の割合をあげるのは難しい面もあると思います。	現行の計画は、「週1回以上スポーツを行う成人の割合を令和4年度までに60%以上」を基本目標としていましたが、この度アンケートを集計した結果、60%の目標値を達成できていませんでした。今回の計画を改定するにあたり、これまでの取組に加え、オリンピックのレガシーの継承、発展等の新たな施策を進めていくとともに、いただいた御提言のとおり、企業との連携を図りながら目標値の達成を目指したいと考えています。
3	<b>P10 健康・体づくりの推進</b> 回答者は60代から80代が多く運動はウォーキングが多いと結果が出るのにスポーツ・レクリエーション活動はハードルが高く思われます。もっと実際の現場を確認した方がより具体的な案が出るのではないのでしょうか？	スポーツ庁では、ウォーキングこそスポーツの第一歩と考え、本格的なスポーツをする人のみならず、日々の暮らしの中で気軽に体を動かす人も含めて、スポーツ参画人口の拡大を進めています。本市はこの考えに則り、市民がウォーキングをはじめとするスポーツ・レクリエーション活動に生涯にわたって関わることができるよう支援するとともに、「する」「みる」「ささえる」という様々な形で、参加を促進する環境づくりに取り組めます。
4	<b>P11 子供の体力の向上及び運動習慣の定着</b> これから部活が地域移行する中で【チャンピオン志向】が果たして部活の地域移行する目的と合っているのでしょうか？スポーツ庁では勝利至上主義にならないようにと言っているはずです。	子供の体力向上及び運動習慣定着のため、多様な志向に応じて選択できるように、各スポーツ団体に働きかけると共に、連携を図っています。また、部活動の地域移行について、生徒の多様なスポーツニーズに応えるため、国や県が策定するガイドラインの内容を踏まえつつ、市教育委員会とも連携し、指導者の育成に努め、すべてが勝利至上主義にならないように配慮していきたいと考えています。
5	<b>P12 スポーツ指導者の充実</b> 運動の専門家でもある健康運動指導士や健康運動実践指導者などの活用や、それらの資格を保持している人材に積極的に募集を募るのも手段かと思います。	本市におきましては、今後もスポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者等の養成・確保の必要性が高いと考えています。いただいた御提言につきましては、今後の指導者育成を進めていく上で、貴重な御意見として参考にさせていただきます。

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
6	<p><b>文章の表現</b>            全体的に文章が稚拙で、大変読みづらいです。文章力は、「第2次岩国市文化芸術振興プラン（案）」と比較すると、その差は歴然としています。スポーツ推進班では、計画書の文章をきちんと精査されているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、2ページの「1 人口の推移」の次の文章です。              「また、国立社会保障・人口問題研究所による推計には、2032（令和14）年に11万540人、2070（令和52）年には5万5,600人に減少すると推計されています。」</li> <li>この文章は、「また、国立社会保障・人口問題研究所による推計には、（中略）と推計されています。」となり、適切な文章になっていません。</li> <li>これを校正すれば、次のようになります。              「また、本市の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2032（令和14）年に11万540人、2070（令和52）年には5万5,600人にまで減少すると予測されています。」</li> </ul>	<p>いただいた御指摘につきましては貴重な御意見として賜り、再度確認します。その中で適切でない表記と判断した場合は校正させていただきます。</p>
7	<p><b>年次の表現</b>            年次については、基本的に和暦のみが使われていますが、将来については西暦（和暦）となっています。近年、和暦が平成から令和に替わっていることから、年次には西暦を入れて和暦（西暦）か西暦（和暦）のどちらかに統一することを提案します。</p>	<p>いただいた御意見を参考に表記を統一することとしますが、市の会計年度と合わせて和暦で統一します。</p>
8	<p><b>将来人口の持つ意味に配慮</b>            岩国市の将来人口については、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口を示していますが、この人口は、近年の人口学的指標（女性の年齢階級別出生率、男女年齢階級別生残率、男女年齢階級別転出入率等）の傾向値をもとに推計されているものです。したがって、この計画の効果である、人づくり、地域の活性化など、人口の定住効果、転入者増加の効果は考慮されていません。つまり、このような人口を将来人口として示すのは、本市が人口減少対策に注力しないということを示していることとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、この計画の目標年次は、2032（令和14）年ですので、2070年の人口に触れる必要はないと考えます。</li> </ul>	<p>将来人口の表記については、本計画の上位計画である「第3次岩国市総合計画」に合わせて記述しています。            いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の参考にさせていただきます。</p>
9	<p><b>スポーツとSGDsの関係性</b>            国際連合は、開発と平和のためのスポーツ（Sport for Development and Peace）が持続可能な開発目標SDGsの達成にも大きく寄与するとして高く評価しています。その意味で、スポーツによるSGDsの開発目標等にも触れるべきです。</p>	<p>いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
10	<p><b>世界のスポーツの潮流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の世界におけるスポーツの潮流は、若者に人気のあるエクストリームスポーツ、ビーチスポーツにあります。</li> <li>・国際オリンピック委員会（IOC）は、若者の伝統的なスポーツからの離散を回避するものとして、若者に人気のある、エクストリームスポーツ（スケートボード、スポーツクライミングなどのアーバンスポーツ）やビーチスポーツ（ビーチバレー、サーフィン、3×3など）を採用する傾向にあります。</li> <li>・そのため、オリンピックの2年前にユースオリンピックで新種目が採用されています。2018 ユースオリンピックのフエノスアイレス大会では、スポーツクライミング、ビーチハンドボール、プレイキンなどが採用されており、スポーツクライミングは2020 東京オリンピックで採用され、プレイキンは2024 パリオリンピックでの採用が決定しています。ビーチハンドボールについては、パリオリンピックでの開催が有力視されていましたが、採用には至りませんでした。2022 ユースオリンピックのダカール大会（延期）では、太極拳、ビーチレスリングの採用が確定していました。</li> <li>・スポーツによる若者の定着、地域活性化を図るには、若者に人気のあるスポーツの推進とその活動環境の整備が重要となります。</li> </ul>	<p>本市におきましてもスポーツによる若者の定着や地域活性化を図るためには、若者に人気のあるスポーツの推進とその活動環境の整備が重要と考えています。いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の本市スポーツ施策の参考にさせていただきます。</p>
11	<p><b>子どものスポーツ好きの醸成と体力・運動能力及び学力・非認知能力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期からバランスのよい食生活を身に付け、適正な運動遊びやスポーツに親しむ機会を設け、子どもの運動・スポーツ好きを醸成すること、学力だけでなく自己肯定感ややり抜く力などの非認知能力を形成することが極めて重要です。</li> <li>・（参考）幼児期に非認知能力を高める教育を受けると、成人後もその効果が続き、社会的な成功や健全な生活につながるという研究（ノーベル経済学賞受賞のジェームズ・ヘックマン）が有名。</li> </ul>	<p>いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の参考にさせていただきます。</p>
12	<p><b>運動部活動の地域意向への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画は、2027（令和14）年度までの計画ですので、2023（令和5）年度から始まる「運動部活動の地域移行」に関する記述がないのは問題ではないでしょうか。</li> <li>・ここは、総合型地域スポーツクラブ等において経験豊かな指導者の下でスポーツができるよう取り組んでいただきたい。</li> </ul>	<p>部活動の地域移行については、国や県が策定するガイドラインの内容を踏まえつつ、市教育委員会とも連携し、子供達の多様な志向に応じて選択できるように、指導者の育成や地域団体との連携に努めていきたいと考えています。</p>
13	<p><b>中学女子生徒のスポーツ離れの解消（アンケートからみえてくる課題）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P37 問「学校の自由時間や体育の授業以外でスポーツや運動をどのくらいしていますか？」に対する分析結果「男子に比べ女子の実施率が低い。特に月1回程度とほとんどしないをあわせると28%になる。」</li> <li>・中学校においては、将来にわたって継続的なスポーツライフを営むことができるようにする指導の充実が課題になっていると思います。とりわけ、母親のスポーツ参加が子どもなど家族のスポーツ喚起に効果的であることから、運動・スポーツ離れの多い女生徒を対象に、勝敗に拘らない、スポーツの楽しみ方を指導する仕組みが求められます。それ故、スポーツを愛好するきっかけ、スポーツに触れ合うきっかけとなり、スポーツを楽しめるクラブの創設を支援していただきたい。</li> </ul>	<p>本市におきましては、引き続き日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして、レクリエーション団体や総合型地域スポーツクラブへの支援をしていきたいと考えています。いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
14	<p><b>ウォーカブル推進都市への参画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査によると、P24 のスポーツの実施場所としてはウォーキングの実施者が多いことから、「道路・歩道」、「自宅や近所の公園」が全体の 44% を占めています。このことから、岩国市も、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりに取り組むウォーカブル推進都市になるべきです。つまり、岩国市は、地域丸ごとスポーツ空間づくりというコンセプトで取り組んでもらいたいです。</li> <li>因みに、山口県では、下関市、宇部市、山口市、防府市、長門市、周南市の 6 都市がウォーカブル推進都市になっています。</li> </ul>	<p>スポーツ庁では、ウォーキングこそスポーツの第一歩と考え、本格的なスポーツをする人のみならず、日々の暮らしの中で気軽に体を動かす人も含めて、スポーツ参画人口の拡大を進めています。</p> <p>本市はこの考えに則り、市民がウォーキングをはじめとするスポーツ・レクリエーション活動に生涯にわたって関わることができるよう支援するとともに、参加を促進する環境づくりに取り組みます。</p> <p>本市はこれまでに民間企業と連携してアプリケーションを活用したウォーキング推進事業を実施しました。また、市民が安全にウォーキングできる環境を整備するため、岩国運動公園、愛宕スポーツコンプレックスなどにランニングコースや遊歩道などを整備しました。</p> <p>なお、今後、日々のウォーキングにポイントを付与する健康アプリの導入についても検討を行っています。</p> <p>このような中、今後も市民がいつでも、どこでも、気軽に、安全にウォーキングできる環境整備を推進したいと考えています。</p>
15	<p><b>プロスポーツチームの創設支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツの力で地域を元気にするという課題を達成する手段としては、岩国市の出身、あるいは岩国市と何らかのゆかりのある選手がオリンピック、ワールドカップや世界選手権などの舞台で活躍し、地域の人々に感動、勇気、元気等をもたらしてくれるか、あるいは全国を舞台に活動する、地元のプロスポーツチームを持つことではないかと考えます。</li> <li>地元のプロスポーツチームが地域の誇りとなり、地域を元気にするものとなれば、地域に愛着が持て、地域に連帯感が生まれます。これは、ひいては、市民が生まれ育った地域に住み続けることを支援、あるいは推進することにもなります。</li> <li>人口の少ない地域では、チーム人数の少なくてすむビーチバレー(2人)、3on3も含めたバスケットボール(3~5人)、ビーチサッカーやフットサル(5人)などのクラブチームの育成、支援が考えられます。</li> </ul>	<p>東京2020オリンピック競技大会で本市ゆかりの選手が活躍され、中でもフェンシングの加納虹輝選手が団体金メダルを獲得されるなど、市民に夢や感動を与えてくれました。また、本市出身の陸上女子短距離の君嶋愛梨沙選手が世界選手権で日本記録を樹立されました。</p> <p>一方、プロチームの創設には民間企業の資金や地域を挙げた機運の高まりなどが必要であるため、困難を伴うことが予測されます。そのような中、地元ゆかりの選手が世界のトップで活躍することは、市民の誇りや地域の一体感を生み出すことにつながるため、まずは地元のトップアスリートの育成に努めてまいりたいと考えています。</p>

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
16	<p><b>本計画（案）の基本方針と施策体系と具体的な施策の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画（案）の施策は、総合的、かつ体系的に取りまとめられていない。岩国市の計画（案）にない施策については、山口県の施策ないしは県市のスポーツ統括団体等の事業に頼ることになります が、そのことは、この計画（案）において明示すべきと考えます。</li> <li>・仮に、私が本計画の策定を担当するとすれば、以下のような施策体系で取りまとめます。</li> </ul> <p>〔基本施策と施策体系〕</p> <p>I 子どものスポーツに親しむ機会・スポーツを楽しむ環境づくり</p> <p>(1) 幼少期からの非認知能力や運動能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 幼児の外遊び・運動遊びの啓発普及促進</li> <li>② 幼児の外遊び・運動遊びの総合的な指導・支援の充実</li> </ul> <p>(2) 児童生徒のスポーツの機会・場の充実と習慣化の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校給食の改善と食育の推進</li> <li>② 学校体育の充実と体力・運動能力の増進</li> <li>③ 運動部活動の適正化・活性化と地域移行の推進</li> <li>④ 女子児童生徒の運動・スポーツ離れ解消</li> </ul> <p>(3) 児童生徒の地域スポーツ環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校体育・スポーツ施設の安全確保</li> <li>② 放課後や休日のスポーツ指導の充実</li> <li>③ スポーツ少年団の活動支援</li> </ul>	<p>いただいた御提言につきましては、貴重な御意見として賜り、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
16	<p>II スポーツの力で健やかな心身と豊かな暮らしづくり  (1) ライフステージに応じた健康づくり・体力づくりの推進  ①主に 20 代、30 代女性のスポーツ参加機会の充実  ②主に 40 代男性のスポーツ参画機会の充実  ③高齢者のスポーツの参画機会の充実と楽しむ環境の整備  ④障がい者のスポーツの参画機会の充実と楽しむ環境の整備  (2) 日常生活の質を高める運動・スポーツの推進  ①家庭の中の健康づくり運動の普及・推進  ②身近な地域での健康づくりの運動やスポーツの推進  ③職場等における健康経営とスポーツ活動の推進  (3) スポーツ・レクリエーション等のイベントの充実  ①全市民参加型のスポーツイベントの充実  ②健康づくり・仲間づくりを目的とした自主的な市民のスポーツ活動等への支援  ③地域のビーチを活かしたスポーツイベントの創設  ④マスターズゲームズ参加志向のアスリートの大会の開催</p> <p>III 地域のスポーツ活動を支える環境づくり  (1) 総合型地域スポーツクラブの創設支援と育成強化  ①総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援  ②スポーツ指導者の資質向上  ③学校の体育施設の開放  ④スポーツ情報提供の充実  (2) 地域のスポーツ人材・組織・資源・施設の質的充実と有効活用  ①スポーツ推進委員活動の推進  ②スポーツボランティアの育成と活用  ③公共スポーツ施設の充実と有効活用  ④スポーツ空間としての道路・広場・ビーチの整備充実  ⑤スポーツ関係団体等の活動支援及び連携の強化  (3) スポーツ活動の利便性や安全性の確保  ①スポーツ情報のポータルサイトの充実  ②スポーツ中の事故・傷害、感染症等疾病の予防対策の徹底  ③スポーツ施設のバリアフリー化等安全性の確保</p> <p>IV 世界で活躍できるアスリート発掘と競技力強化体制づくり  (1) 次世代アスリートの発掘育成の戦略的推進  ①ジュニアタレントの発掘育成  ②有資格指導者の確保と一貫指導体制の充実  ③チャンピオン獲得のための経済的支援制度の充実  (2) トップアスリートの育成強化環境の充実  ①経験豊富な指導者の招聘・確保  ②競技生活継続のための支援制度の充実  ③高度なトレーニング環境の整備</p>	上記のとおり

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
16	<p>(3) 障がい者アスリートの育成強化環境の充実</p> <p>①障がい者スポーツの指導者の確保</p> <p>②障がい者アスリートの活動拠点の整備</p> <p>③障害者スポーツ用具の開発支援</p> <p>(4) スポーツ医・科学の活用</p> <p>①映像・身体情報の分析と医・科学的視点からの指導・育成</p> <p>②アスリートサポートプログラムの充実</p> <p>③アンチドーピングの啓発</p> <p>(5) アスリートの強化を目的とした全国大会の定期的な開催</p> <p>①フェッシングやハンドボール等の全国大会の定期的な開催</p> <p>②子供達に人気のあるアーバンスポーツの日米交流大会の定期的な開催</p> <p>V スポーツに関連した産業の振興と地域の活性化</p> <p>(1) スポーツ交流拠点の形成とスポーツコンベンションの推進</p> <p>①スポーツキャンプ・スポーツ合宿の誘致の推進</p> <p>②プロ野球等スポーツチームの観戦客の拡大</p> <p>(2) スポーツ資源を核とした新たな産業の創出</p> <p>①錦川等豊かな自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <p>②チーム編成5人以内のプロチームの創設支援</p> <p>(3) スポーツを核としたまちづくり</p> <p>①ウォーカーや観光客のための歩きたくなる城下町空間形成</p> <p>②地域丸スポーツ空間化の推進</p>	
17	<p><b>誤植の修正</b></p> <p>・P42の「コミュニティ能力」⇒「コミュニケーション能力」ではありませんか。</p>	<p>文章全体を校正しました。</p>